

道内の木材市況概況(令和4年1月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向	
素材	トドマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,300	200	(道産材) ・トドマツの原木消費量は、例年よりも多い状況が続いており、入荷量は消費見合い程度であるため、春先に向けての在庫の積み増しに不安感がある。市況は保合～強保合。 ・カラマツ原木の流通量は若干回復したものの、春先に向けて原木の積み増しができない工場が多く、不足感は解消されていない。市況は保合～強含み。	
	カラマツ	径14～18cm 長3.65m 品等込	工場着	10,600	500		
	カラマツ	径20～28cm 長3.65m 品等込	工場着	12,100	300		
	*エゾマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,700	200		
	*ナラ	径30～38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	27,500	1,300		
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	61,100	0	(道産材) ・エゾ・トド製材は、冬場は建築需要が弱まる時期だが、地域により差はあるものの引き合いは強い状況が続いている。市況は保合～強保合。 ・カラマツ製材は、梱包材・パレット、ラミナともに需要は旺盛だが、すべての需要に応じ切れていない状況が続いている。市況は強保合～強含み。 (住宅着工戸数) ・12月の新設住宅着工戸数は前年同月比90%。	
	カラマツ	梱包材: 定尺	工場渡	33,200	100		
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm 上長2.0m以上 板類1	工場渡	236,000	12,000		
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	1,110	100	・市況は強気配。	
チップ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	6,000	0	・チップ原料材は保合。	
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,800	0	・チップは保合。	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ	7,300	0		
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ	9,900	0		

注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。

注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。

注3 木材市況調査月報(令和3年5月価格)より外国産材の輸入動向数量関係(出典:北海道木材輸入懇話会資料)の掲載を取りやめる。

注4 四半期項目(樹種名の前に「*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。

注5 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3～4月価格は接続しないて表示する。